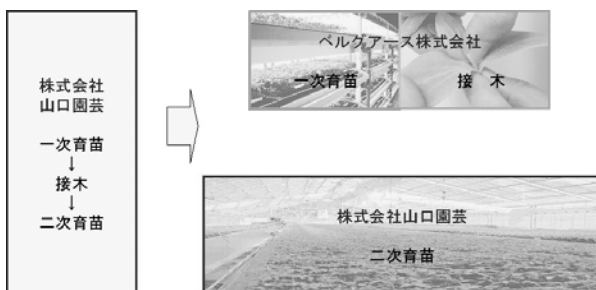


## 6 今後の事業計画

2001年ベルグアース株式会社は、農業生産法人である株式会社山口園芸の仕入・販売・研究開発部門を分社化して発足しました。顧客ニーズに対応した商社活動に注力し、順調に成長してまいりました。

更に、全国レベルの顧客ニーズにきめ細かな対応し更に発展するために、株式会社山口園芸より第一次育苗部門と接木部門を事業移管し、ヌードメイク苗を戦略商品として、受注拡大と生産の拡大を図ることにしました。



組織変更(イメージ)

今後、株式会社山口園芸は農業生産法人としての機能を強化し、本来の当社の生産委託業者のとして二次育苗製品である、「プラグ苗・アースストレート苗・ポット苗」の生産に特化し、「生産性と品質の向上」を図りながら、展開していく計画です。

### 1) 売上拡大戦略

当社は、農家の衰退と反比例して成長してまいりました。ハウス栽培が果菜類の生産拠点となった時から経済原則を追求し現在に至っています。

ハウスを効率的に運用するための購入苗の拡大と、素人の方がハウス栽培をする際の技術的問題を解決するための購入苗比率の拡大との、大きな扇状のマーケットの中で成長してまいりました。

今後もこうした多様なニーズに応えるため、更なる付加価値を追及しながら、売上の拡大を図りたいと思っています。

### 2) 商品別販売戦略・商品別販売計画

#### ①ヌードメイク苗販売強化

事業買収で得た「第一次育苗施設と接木部門」の付加価値を更に追求するために、ヌードメイク苗を積極的に販売する計画です。

- ・ヌードメイク苗を単体の商品として、既存のナーサリーセンター・種苗店：ホームセンターの委託農家等今後とも増加する接木需要に応え、「流通接木苗市場の供給拠点」としての役割を積極的に果たすことに応えながら、単体商品として売上増加を果します。
- ・併せて、今後全国レベルに予定している委託生産者の拠点展開にあわせ、二次育苗のための販売を強化してまいります。

#### ②新商品「無農薬苗：e-ナチュレ」販売

2005年6月より導入された「農薬履歴表示義務」の実施に伴い、消費者からの減農薬野菜への関心は飛躍的に増加してまいりました。

従来より研究・開発中であった、「閉鎖型・貯蔵施設」(後述)による付加価値商品として、育苗苗時期に一切農薬を使用しない苗である無農薬苗(商品名：e-ナチュレ)を本格販売することにしました。

#### ③既存商品の販売戦略

基本戦略はユーザーに近い販売チャネルでの売上拡大が基本です。

よりユーザーに近い販売の徹底に加え、よりユーザーに近い委託業者での生産拡大に伴う、ユーザーニーズにきめ細かに応じることが不可欠です。

同じポット苗一つにとっても、エリアによりニーズが異なります。北海道エリアでは大きくて太い苗を希望しますが、南に行くにしたがって小さくても良いからしっかりした苗を希望する傾向が見られます。こうしたきめ細かなニーズに対応するには、よりユーザーに近いところでの、ニーズ対応が安定し